

第 5 5 事業年度事業報告書

自 令和 2 年 7 月 1 日
至 令和 3 年 6 月 3 0 日

一般財団法人 製粉振興会

第55事業年度事業報告

自 令和2年7月 1日

至 令和3年6月30日

1 理事会の開催

(1) 令和2年8月4日 第176回理事会

- ① 第54事業年度事業報告に関する件
- ② 第54事業年度決算報告に関する件
- ③ 公益目的支出計画実施報告書に関する件
- ④ 定時評議員会招集に関する件
- ⑤ 職務執行状況報告に関する件（報告）

(2) 令和2年8月21日 第177回理事会（書面決議）

- ① 専務理事選定の件

(3) 令和2年11月12日 第178回理事会（電磁的記録による決議）

- ① 小麦粉製造業の事業再編促進事業助成要領の別表の改正について

(4) 令和3年3月17日 第179回理事会（電磁的記録による決議）

- ① 公益目的支出計画の安全・品質管理助成事業（公2）について、内閣府に対し、改正延長申請を行うことについて

(5) 令和3年6月16日 第180回理事会

- ① 第56事業年度事業計画に関する件
- ② 第56事業年度予算に関する件
- ③ 「小麦粉製造業の事業再編促進事業助成要領」及び「小麦粉製造業の安全品質管理向上事業助成要領」の一部改正に関する件
- ④ 職務執行状況報告に関する件（報告）

2 評議員会の開催

令和2年8月21日 第86回評議員会

- ① 第54事業年度決算報告に関する件
- ② 理事の選任に関する件
- ③ 第54事業年度事業報告に関する件（報告）
- ④ 公益目的支出計画実施報告書に関する件（報告）

3 公益目的支出計画の変更

公益目的支出計画について、令和3年4月26日に変更認可申請を行い、内閣府と協議した結果、変更認可申請を届出に変更し、6月29日に受理された。

なお、計画変更後は、安全・品質管理助成事業（公2）の事業実施期間を令和5年度から令和12年度まで7年間延長することになり、また、計画の最終年度（令和20年度）の変更はない。

4 小麦粉製造業の事業再編促進事業

助成事業審査委員会（令和2年10月21日、令和2年11月17日開催）による事業計画及び事業完了等の審査を行った上で、廃業する製粉企業に対し助成金を交付した。

なお、年平均買付実績が100トン未満の企業に対する助成金の支払いについて、助成基準の特例を設けることとし、要領の一部を改正した。

製粉企業の転廃業に対する助成 1件（1,633千円）

5 小麦粉製造業の安全品質管理向上事業

安全品質管理施設の設置及び安全品質管理の認証を取得した製粉企業・工場について助成申請内容等を審査し、助成金を交付した。

安全品質管理施設の設置助成	15件（3,363千円）
安全品質管理の認証取得助成	1件（500千円）
計	16件（3,863千円）

6 小麦粉に関する知識の啓発・普及と需要拡大に関する事業

（1）需要拡大推進事業

① 下記小麦粉実需者各団体の需要拡大事業計画に基づき、各団体に事業費を交付した。

パン食普及協議会	全国製麺協同組合連合会
(一社)日本即席食品工業協会	全国乾麺協同組合連合会
(一社)日本パスタ協会	(一社)全国ビスケット協会
全国パン粉工業協同組合連合会	日本プレミックス協会
全国小麦粉分離加工協会	(一社)日本麺類業団体連合会

- ② (一社) 栄養改善普及会が令和元年7月から令和元年12月の間に実施した食品と栄養のミニ移動教室(元気のみなもと小麦粉パワー)事業に協賛し、同普及会に事業費を交付した。

(2) 小麦粉に関する知識の啓発・普及

① 新聞、雑誌等による粉食の普及活動

(ア) 小麦粉の普及、需要拡大を目的として、関係団体と連携して「コムギケーション倶楽部」のPR活動を行った。

20代~30代までの女性をターゲットに、コムギ食を取り入れながら食事を楽しく、おいしく、バランスよく食べる考え方「#糖質選択でコムギビューティ」をテーマに、インスタグラムを活用した情報発信を行うとともに、オンラインセミナーを開催した。

(イ) 小・中学生を対象として、小麦、小麦粉及び小麦粉加工品に係るトピックス及び基礎知識等並びに、小麦粉及び小麦粉加工品を使用した料理等の記事を、毎日小学生新聞(2回)、月間「Newsがわかる」(4回)に掲載した。

(ウ) 学校教育関係者への小麦粉の理解を深めるため、日本教育新聞において、小麦に関する記事に合わせて、広告を掲載した(1回)。

② 冊子及びパンフレット等の作成、配布

以下の冊子等を作成し、製粉企業等を通じ消費者等に幅広く配布した。

また、学校及び公共図書館へも配布するとともに、消費者団体等の各種行事の際に参加者に配布した。

○ 冊子

「小麦粉の魅力(改訂版)」、「話題のバスケット小麦粉とパン・メン・菓子・料理」、「小麦・小麦粉の科学と商品知識」

○ パンフレット

「ぼくとわたしの「小麦粉」自由研究」、「小麦粉のハンドブック(第2次改訂版)」、「元気のみなもと小麦粉パワー」、「小麦粉にはどんな種類があるの?」、「小麦粉ってなあに?」

○ リーフレット

「小麦粉と私たちの暮らし」、「小麦粉は豊かな食事のコンダクター」、「コナちゃん4つのお願い」、「小麦粉の種類と用途」、「元気のみなもと小麦粉パワー」

○ その他

“コナちゃんバッジ” “コナちゃん紙バッグ” “コナちゃんエプロン”

③ 製粉振興会ホームページ「小麦粉のはなし」による情報提供

小麦・小麦粉の生産・加工など流れ、小麦・小麦粉に係る基礎知識、小麦・小麦粉に係る話題、小麦粉の歴史、子供たちとの小麦・小麦粉コーナーによる、小麦粉ってなあに？（動画）、小中学校新聞（体験学習編等）、みんなの小麦粉研究室等についての情報を提供した。

④ 製粉会館1階の「製粉振興会PRコーナー」における展示

小麦粉、小麦粉見本とともに、パンの製造工程を、写真、イラストにより解説したテクナノメーション（動いて見える図）パネル「コナちゃんといっしょに、パンができるまでを見学しよう。」及びパネル「小麦粉の種類と用途」を展示した。また、時節に応じて乾麺、即席麺、パスタ、プレミックス、ビスケット等についての製品見本、写真・パネル等を展示した。

7 教育、広報事業

(1) 製粉教室の開催

新入社員等の教育を目的とする第57回「製粉教室」を、新型コロナウイルス感染防止のため受講者を例年の半数程度に制限するなどの対策を講じた上で、令和3年5月31日から6月8日まで開催し、15の製粉企業から28名の受講者が参加した。講義及び実習テーマと講師は次のとおりである。

麦をめぐる事情について	農林水産省政策統括官付貿易業務課長	萩原英樹
麦の生産をめぐる状況について	農林水産省政策統括官付穀物課長	東野昭浩
製粉産業の現状と社会的役割	製粉協会専務理事	佐々木康雄
製粉機械の原理と最近の動向	ビューラー社 リングソリューション部マネージャー	金子亘
パン産業の概要	(一社)日本パン工業会専務理事	阿部勲
プレミックス製造業の概要	株式会社ニッポン品質保証部主幹	大村真也
パスタ産業について	マ・マーマカロニ株式会社 取締役生産本部本部長	池田琢也
ビスケット製造業の概況	(一社)全国ビスケット協会	井上琢也
即席めん概論及び最近のトピックス	(一社)日本即席食品工業協会課長	鈴木竜秀

海外の製粉会社の動向と製粉企業における品質保証と研究開発	(一財)製粉振興会 参与	長尾 精一
製めん実習	日清製粉株式会社技術開発本部 セイルスサポートチーム	松岡 芳宏
ケーキ・製パン実習	日清製粉株式会社技術開発本部 新製品開発チーム	田中 智久
小麦・小麦粉の特性と試験法	製粉協会 製粉研究所長	和久 宏也
ICTを活用した新しい働き方	NTTコミュニケーションズ株式会社 取締役ICTイノベーション本部長	倉田 正芳
めん類製造業の概況について	日清製粉株式会社技術開発本部次長	長井 孝雄
製パンを科学する	(一社)日本パン技術研究所長	井上 好文
製粉企業の原価計算	千葉製粉株式会社管理本部 取締役執行役員管理本部長	西澤 肇
食品の安全性	(一社)食品産業センター技術環境部長	阿部 徹
食品表示制度の概要	公立大学法人宮城大学名誉教授	池戸 重信

(2) 製粉講習会の開催

製粉講習会については、新型コロナウイルス感染防止のため、会場を東京に集約するとともに、オンライン配信を導入して、令和3年3月22日に、以下のテーマ、講師により開催し、各製粉企業等から、会場・オンライン合わせて約300名の受講者が参加した。

- ① 国内産小麦及び外国産小麦の品質の遺伝的な違いと国内産小麦の需要拡大に向けた品種開発の方向性について

農研機構 西日本農業研究センター上席研究員 池田達哉氏

- ② 新型コロナウイルス禍での小麦をめぐる動きと小麦粉消費動向及び海外製粉企業の現況

(一財)製粉振興会参与 長尾精一氏

(3) 「製粉振興」の発行

当会の行う事業と製粉企業の発展に寄与する事項について広報を行うため、編集委員会を隔月に開催し、「製粉振興」(第607号から612号まで)を発行して製粉関係者等に配布した。

8 製粉協同組合等が行う事業への支援

- (1) 全国及び地域の製粉協同組合等が構造改善推進のための事業に対し支援を行った。(16団体(6,298千円))
- (2) 地域組合等が行う玄麦・小麦粉及び製めんの品質試験(九州製粉協同組合)、小麦粉を中心とした料理講習会(九州製粉協同組合)事業に対して支援を行った。(220千円)

9 その他

麦作振興の推進活動を行う国内麦生産流通改善連絡協議会(事務局:全国農業会議所)のメンバーとして、全国麦作共励会行事の開催に協力した。

事業報告書の付属明細

付属明細書には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事項(事業報告の内容を補足する重要な事項)を記載することとされていますが、第55事業年度は該当する事項はありません。

その他公表資料

第55事業年度

○ 小麦粉製造業の事業再編促進事業

・助成件数 1件 ・助成金額 1,632千円

○ 小麦粉製造業の安全品質管理向上事業

助成対象者	助成内容
株式会社ニップン	安全品質管理施設助成
昭和産業株式会社	〃
日東富士製粉株式会社	〃
江別製粉株式会社	〃
横山製粉株式会社	〃
株式会社小川製粉	〃
阿部製粉株式会社	〃
柄木田製粉株式会社	〃
セントラル製粉株式会社	〃
株式会社内外製粉	〃
奥本製粉株式会社	〃
太陽製粉株式会社	〃
西尾製粉株式会社	安全品質管理認証取得等助成